

## 川野系夏橙の果実形質に関する研究

### 第2報 甘夏検定におけるサンプリングについて

山津 憲治  
(佐賀県果樹試験場)

K, YAMATSU.

Studies on the Quality of Kawano-Natsudaidai.

(2) About the way to sample in examining Kawano-Natsudaidai.

甘夏苗木中に普通夏が混じており、果実出荷の場合問題が生じてくる。甘夏と普通夏の判別は、酸濃度によって行なわれているが、それでも明確には判別し難い。その原因の一因子である果実のサンプリングについて検討した。

#### 1. 材料および方法

静岡県柑橘試験場伊豆分場内圃(安山岩礫質壤土)6年生樹(初成り果)28本(樹No.1~28), 対照樹として農家A(黒ボク壤土)普通夏8年生樹14本(樹No.29~42)及び農家B(黒ボク壤土)甘夏15年生樹5本(樹No.43~47)を供試した。サンプリングは、場内樹は全果、農家Aは、樹冠上部より5果、下部より5果、農家Bは、樹冠を高さ別に上中下及び内成り、中下については東南西北の四方位の十箇所に分け一箇所より5果づつサンプリングし一果毎に分析した。検定基準は、基準樹より下記のように決定した。合格;甘夏平均値+ $\alpha$ 以下の酸濃度のもの。不合格;普通夏- $\alpha$ 以上のもの。再検;上記の中間のもの。

#### 2. 結果および考察

全果を対象にした場合は、甘夏樹では完全に合格する樹は61.8%, 再検まで分布する樹が38.2%, 不合格まで分布する樹は3.3%に達した。普通夏で合格する樹は7.7%, 再検77.0%, 不合格23.1%とな

第1表 サンプリングと出現樹率

サンプリング	系統	調査本数	合格	再検	不合格
1. 全果を対象にした場合	甘夏	34	61.8%	38.2%	3.3%
	普通夏	13	7.7%	77.0%	23.1%
2. 結果位置を考慮した場合 (中段枝以上外成り果のみ)	甘夏	34	85.3%	14.7%	0
	普通夏	13	0	69.2%	30.8%
3. 果実の大きさを考慮した場合 (平均果重以上)	甘夏	34	88.2%	11.8%	0
	普通夏	13	0	53.8%	46.2%

った。

結果位置を考慮した場合は、甘夏樹では合格85.3%, 再検14.7%, 不合格まで分布するものは無かった。

果実の大きさを考慮した場合は、甘夏樹では合格88.2%, 再検11.8%, 不合格は無かった。

全果を対象に1果ランダム・サンプリングでは、甘夏樹で再検以上の果実が2.0~22.0%に及んだ。結果位置を考慮した場合は、4.0~14.0%となり、果実の大きさを考慮した場合は2.0%の出現果率となった。ランダム・サンプリングで判別が難しくなったのは、下枝・内成り果では果実が小さく酸濃度が高いためであった。特に樹冠の大きい樹ではその傾向が強かった。

以上のことからランダム・サンプリングより果実の大きさを考慮してサンプリングした方が望ましいと考えられる。

第2表 サンプリングと出現果率  
甘夏再検以上 普通夏再検以下

樹No	調査果数	甘夏再検以上			普通夏再検以下				
		全果	結果位置	果実の大きさ	調査果数	全果	結果位置	果実の大きさ	
1	21	9.5%	9.5%	0%	30	10	40.0%	30.0%	30.0%
3	22	9.1	0	0	31	10	40.0	10.0	0
7	20	5.0	0	0	32	10	10.0	10.0	0
9	14	7.1	7.1	0	34	10	20.0	0	0
11	13	7.7	0	0	36	10	50.0	40.0	0
13	18	5.6	0	0	37	10	30.0	20.0	0
14	17	11.8	0	0	38	10	60.0	50.0	40.0
15	9	11.1	0	0	39	10	80.0	60.0	60.0
22	19	5.3	0	0	42	10	70.0	30.0	30.0
24	12	8.3	8.3	0					
43	50	2.0	0	0					
46	50	22.0	14.0	2.0					
47	50	14.0	4.0	2.0					

昭和44年1月13日~24日分析